

アートとまちをつなぐ伊丹の

# アイテム

2009  
春  
Vol.07

(財)伊丹市文化振興財団  
TAKE FREE

特集  
お酒のまちだ  
伊丹のノーマル賞



アイテム君22オ

ニシキ  
タダシ

◎連載

[まちなか美術手帖]

悠久の親善を結ぶ三羽の鳥

[終演後の一軒]

小さなお子さん連れにやさしいカフェ

[芸は身を助く]

こども時代を思い出したい

[クラフト作家の職場を訪ねて]

指先に込められた日常のかけら

【舞台の裏側】歴史を綴る黒子



## 舞台の裏側

華やかな舞台を支える巨大装置やハイテク、職人技…。  
普段は見るできない裏側をお見せします。

## 歴史を綴る黒子

全身黒づくめの服装で足元は雪駄に黒足袋、「ガチ袋(＝道具入れ)」に「なり(＝金槌)」を突き刺し、舞台を闊歩する道具の裏方さん。いたみホールで能舞台を設営している様子を初めて見た時は純粋に驚いた。

服装には理由がある。床は歌舞伎で敷き詰められる所作台になっていて、上がるには足袋でなければならぬ。靴下では足の汗が付いて悪影響を与えると考えられている。黒づくめなのは転換などで目立たないようにするためだ。

昔は野外に仮設の舞台を組んでいた能楽は、近年、ホールで上演される機会が増えてきた。それでも仮設で舞台が組めるよう、能楽に欠かせない4本の柱や橋掛かりの欄干は全てバラせるセットになっている。一方、ホールの特性を活かした照明能は、「鏡板」と呼ばれる松の絵もなく、幕に情景を映し出す。

歴史を尊重する、古典芸能には決まり事が沢山あるが、時代の変化を取り込み、脈々と舞台を支え続ける裏方はいつだって黒く見えない幻のようだ。



【取材と文：横田康行】事業企画課施設担当 「困ったら僕に聞け」舞台、音響、電気、パソコン…7つの施設の管理を一手に引き受けるメカニックマン。「暖かくなってきたので、観劇がてら大阪・京都をブラブラしています」

伊丹市ふるさと寄附

ご寄附を通じて、ふるさと伊丹を応援してください

伊丹市では「夢と魅力のあるまち伊丹」の実現に向け、様々な施策に取り組んでいます。寄附金の活用は「芸術・文化」「スポーツ」など10テーマからご指定いただけます。

【お問合せ】伊丹市総合政策部政策室 TEL.072-784-8007 <http://www.city.itami.lg.jp/furusatoitami.html>

お酒の魅力伝えるプロフェッショナル。その仕事ぶりに酔いしれたい。

# NO-MERU 職人賞



御菓子司 福住  
和菓子職人  
長谷川伸介さん

勤と経験の真剣勝負



小西酒造 富士山蔵  
醸造担当  
石田禎晴さん

伝統を継ぐ発酵のプロ

お酒と料理の仲人役



伊丹シティホテル  
ソムリエ  
中濱敬晶さん

酒のまちのお土産に重宝される焼き和菓子「蔵元」。酒樽を上から見た形に、2層のあんこが特徴の銘菓は、半世紀変わらない製法と焼釜で作る。生地は温度や湿度で微妙に変わるため手触りで見極め、焼きの仕上げは数秒の遅れも許されない。「毎日やっけていても神経を使いますが、この微調整は機械にはできません」とこの道20年の職人は語る。

「一に麹。二に酒母。三に仕込み」と言われる酒造り。白雪ブランドのアンカーマン、石田禎晴さんは仕込の責任者だ。アルコール発酵の管理が主たる仕事で機械も導入するが「一本として同じものはできない」苦労がある。大吟醸では昔の作り方で、徹夜も辞さない重労働をこなす。先人が確立してきた酒造りの偉大さを肌で感じる若き職人だ。

「お客様の声を聞き、料理を引き立たせるお酒を提供するのがソムリエです」と、伊丹シティホテルのコーヒーハウス、バーを一手に担う中濱敬晶さんは語る。飲んだワインは2000種以上。あらゆるお酒を頭と舌で覚え、ベストチョイスをオススメする。「ワインは知れば知るほどわからなくなりますね。でもウチクより楽しんで飲む事が一番ですよ」と笑う。

## 職人の今と昔を見比べる

**いま** 小西酒造 富士山蔵  
酒造りのライブ感

洗い場、蒸し機、大きなタンクが立ち並ぶ。発酵する音やフルーティーな香りなど、できあがりの期待は工場ならではの臨場感だ。昔ながらの樽や桶で作る部屋に入れば、今も伝統が息づく事を実感できる。

土日祝以外の平日  
1日2回案内(10:00/13:30)  
無料(予約制)  
受付人数は10人以上  
(少人数時は要相談)  
072-775-0524(総務課)



**むかし** 伊丹郷町館「旧岡田家住宅・酒蔵」  
現存する日本最古の酒蔵

築330年を越える貴祿の旧酒蔵。阪神大震災も乗り越え、国指定重要文化財に。歴史を伝えるだけでなく、コンサートや美術展にも活用され、新たな一面を見せる。敷地内には美術館・工芸センター・柿衛文庫が隣接。

10:00~18:00  
(入館は17:30まで)  
月休(祝日の場合、翌日)  
無料  
072-772-5959



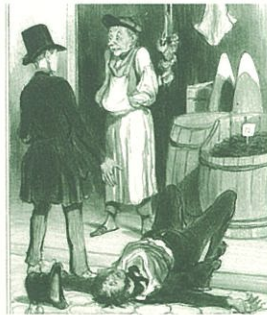
上流階級の裕福な音楽好きたちが夜通し(画面右上の時計に注目)お酒片手に大合唱する。

# NO-MERU 芸術賞

1801年 ジェイムズ・ギルレイ  
「アナクレオン風(享樂的な)の大合唱」

まずは伊丹市立美術館コレクションに見る酒場の風景をブルワリーレストラン「長寿蔵」の合志達矢さんを選んでもらいました。

1841年 オレ・ドゥ・ミ工俗事⑧  
店前で寝る酔っ払いを心配する通行人に、「自分の店で飲んでないから」と突き放す店主のやりとり。



夏場はたまにありますねえ。よそで飲んでいてもお客様ですから、むげにはできません。「帰りますからね」と伝えてそっとおきます。



1848年 オレ・ドゥ・ミ工俗事④  
ビールの栓がなかなか開かず悪戦苦闘した結果、吹きこぼした給仕の失敗風景。



僕も栓を開けた時、お得意様の口に入った事がありますが「おいしいやん」と笑ってくれた時はありがたかった。それ以来こっそりサービスしてます。



◎選考人:合志達矢さん  
市民認知度NO.1の酒蔵レストランのドリンク担当。酒蔵の風格とカジュアルさを兼ね備えたお店で若き溢れる接客を心がける。キャリア10年の大ベテラン。  
【白雪ブルワリー・ビレッジ長寿蔵 中央3-4-15. 11:30~22:30. 第2火休. 072-773-1111】

受賞作品はこの展覧会で

【会場】美術館

「バックスたちのから騒ぎ〜版画が語るパリ・ロンドンの酒事情〜」4/18(土)~6/14(日)。月休(5/4開館、7日休館)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。一般500円、大高生250円、中小生100円。072-772-7447

近代化にともなって旺盛を極めたヨーロッパの酒場事情。美術館が誇る豊富な版画コレクションの中から、当時の様子が描かれた作品を選びすぎりました。ときに道徳的に、ときにグロテスクに表現された民衆や権力者の酔いしれる姿をぜひご覧下さい。チケットプレゼントあり。詳細はP11。

# 伊丹のノーマル賞

❖特集❖  
お酒のよもちだ  
伊丹のノーマル賞

あの有名な賞にちなんで、  
伊丹が誇るお酒の話題に  
「ノーマル賞」を勝手に贈呈します。

歓迎会の時期によくある光景ですね。立っている方、ハメ外しそうなタイプ、仕切役もやってくれるから「またいつものか」って周りも許してらるんでしょうけど。



特集取材  
中脇健児・岡本伸(編集部)  
小田垣由紀(市民サポーター)

# お酒を楽しむ エトセトラ

【会場】工芸センター

おいしいお酒は器から  
真の酒好きは器にもこだわる。運命のマイ酒器との出会いを求めて「伊丹 大酒器祭り」へ行こう。第1部では伊丹国際クラフト展「酒器・酒盃台」入賞・入選作家、第2部は西日本・中部地方の陶芸作家の作品が一堂に会する。購入した酒器で日本酒の試飲もできる。



【伊丹 大酒器祭り】  
(第1部) 4/11(土)～5/17(日)  
(第2部) 5/29(金)～7/5(日)  
月休(5/4開館、5/7休館)  
10:00～18:00(入館は17:30まで)  
無料。酒器作り体験あり。072-772-5557

【会場】柿衛文庫

## お酒に集う文人墨客

江戸時代、美酒と名高い「伊丹諸白(もろはく)」にひかれて多くの文化人が訪れた。酒屋の旦那衆との交遊や支援により、多くの名作が生まれた。鬼貫の俳句はもちろん、能面や芭蕉の名句「古池や…」などの展示から、伊丹の豊かな気風を垣間見よう。



【特別展 酒都伊丹につどう 詩人・俳人・画人たち】  
4/18(土)～6/14(日)。月休(5/4開館、7日休館)  
10:00～18:00(入館は17:30まで)  
一般700円、大高生450円、中小生350円  
072-782-0244



◎人柄が語る酒どころ 職人、お店のスタッフ、常連さんの誰もがおおらか。「酒どころの気風は人にあり」と実感です。

【取材と文:中脇健児】事業企画課事業担当 ヒゲ、メガネ、坊主と三拍子揃った本誌編集長。「伊丹オトラク」「鳴く虫と郷町」など多彩な企画でホールから飛び出す。



酒場の先輩に  
聞きまじた

## 常連の心得

飲み屋を使いこなす姿に憧れる。  
のれんの向こう側は、大人の学び舎でした。

「夏は冷奴、冬は湯豆腐から」と言うように  
マイメニューがリズムを作る。

政治、宗教、巨人の話はじない  
今、この場を察しもう。  
周囲をシラけさせない心配りが大切。

紳士であれ  
社交の場だから「静かに騒ぐ」。わがもの顔はNGだ。  
サツと帰る去り際の美しさも真似したい。

【取材協力】白玉や 中央1-9-21。13:00～21:00。毎週水、第3木休。072-772-4197

創業50年以上、伊丹最古の立ち飲み屋。豊富な旬の料理に魅せられ毎日通うお客さんが多い。「やすい、うまい、はやい」と評判高い。

伊丹空港内にある近畿2府4県の銘酒地酒を揃える専門店「空港銘酒蔵」には、なんと自動利き酒マシンがある。全国的にも珍しく、噂を聞きつけたマニアが出張帰りに立ち寄る事も多いとか。30種類いづれも100円(30ml)。



伊丹空港内2F。無休。06-6856-6874



## まちなか賞

まちで見つけた酒どころの系譜。  
伊丹の当たり前は、スゴかった。



伊丹人の原風景

老松酒蔵「老松丹水」

酒造りのまちには湧き水があるが伊丹も然り。「小西酒造」「老松酒造」は、自らの井戸水を一般市民に提供している。汲む人の列はすっかりまちの風景で「昔飲んだあそこの井戸水はうまかったなあ」と懐かしむ会話が行き交う。

\*\*\*\*\*



## グッドデザイン賞

お、これってイケてる? お酒の良さは細部に宿る。

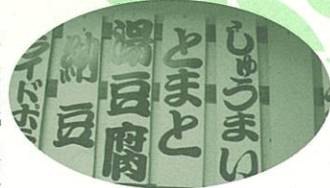
▶数年前に廃業した大手柄の陶器樽。今は老舗の酒屋「オクダ酒店」にある。



▲飲み屋の人曰く「熱燗のやつ」。湯煎のふちに取り手をかけられる機能美とシンプルさが深いチロリ。



▶立ち飲み屋「白玉や」の奥さんによるお品書き。寄席文字フォントにウツリ。



▶ベルギービールのコースター。長寿蔵ショップでビールを買えば、一枚無料でもらえる。

伊丹市文化振興財団・加藤四季、ミュージカル俳優を夢見る歌って踊れる「財団四季」がまちへ飛び出し、あらゆる教室やスクールに挑戦するトツゲキ系連載。

# 財団四季の

vol.7

## 芸は身を助く



### 伊丹けん玉クラブ

幼稚園児から中学生まで約40名が通う。指導歴25年以上のコーチのもと、半数が県代表。日本一の選手も輩出する。



## こども時代を思い出したい

小学校の休み時間に競争した「もしカメ」懐かし〜と、けん玉界のホープがひびく伊丹けん玉クラブに弟子入りしてきました。

お邪魔すると先生の一声でさっと集まり、礼儀正しく迎えてくれます。人懐っこい瞳が印象的。

1列に並んで練習する端に加えてもらい技に挑戦です。とにかく皆リズムカルで膝の関節が柔らかい！玉が落ちてくるのに逆らわず、上手く玉を吸い付かせるのがコツのようです。

お皿に乗せるのは昔とった杵柄でできるぞ。となると、そこからは舞の海も真っ青な技のデパート。基本を上手くアレンジすると自慢できる様なカッコヨイ技にもなるんです！玉を蹴っ

て乗せる「リフティング大皿」や、けん玉を放り投げたり、回転させてお皿に乗せる“はやて中皿”“つばめ返し”など。成功すると色々な所から褒め言葉が飛んで来るのも嬉しい。

ふと見渡すと、年齢性別関係なく自然に輪ができていて、教え習い合う様子は、ライバルだけど皆がいてこそチーム！というあたたかな雰囲気。本当に素敵です。

先生は「色々な難易度の技があり、目標がいつもある事も夢になる要因だよ」と。レベルアップする感覚は確かにクセになりそう。自宅のマイけん玉も長い冬眠から醒める時が来たんじゃない？

灯台に挑戦。みなさんお見事！私は…(笑)



自慢の技をみせあいつ



先生の匠の技、伝授中



【教室案内】練習は女性・児童センターで毎週水・木・金曜の18:30~20:00。会費月500円。090-9984-7745(代表・植西)



# まちなか美術館手帖

【伊丹シティホテル前広場×ロベール・ファンデレイケン】



学芸員が美術館から飛び出し、伊丹のまちなかにはたすむアート作品を紹介。普段何げなく見ていたものが実はすごい作品だったんです。

伊丹市はベルギー・ハッセルト市、中国広東省佛山市と姉妹都市・友好都市提携を結ぶ。その友好の証が伊丹シティホテル前の広場にある。

「悠久の親善を結ぶ三羽の鳥」と題するブロンズ彫刻は、3都市を象徴する鳥が寄り添いながら同じ方向を見つめて飛ぶ。平面的な部分と立体的な部分とが混ざり、羽の広がりが見る角度によって多様なかたちをしている。

制作したロベール・ファンデレイケンはハッセルト市出身の作家で、当時、同市立芸術学校の校長であった。主にスペインで活躍しておりモニュメントを設置するも、本作は代表作として必ず挙げられる。

締結から2年後のホテル開業に合わせて伊丹市が制作を依頼、その後、同型から造られた作品が佛

## 悠久の親善を結ぶ三羽の鳥

山市にも設置された。同じものがハッセルト市にもある。国際交流は数種あるが、3都市が共有し、かつ芸術作品であるのはこの作品の他にない。国内外からの訪問者を受け入れるホテルの前において、国境を越えて助け合いながら飛翔しているという願いが込められる。

### ロベール・ファンデレイケン (1933-ハッセルト出身)



ベルギーを代表する彫刻家であり画家。キュビズムなど20世紀芸術の影響を受け、単純化された表情と形象を特徴とする。

### 所蔵品展「いたみのかたち」

「まちなか美術館手帖」で紹介した作品を、関連資料と作品とともに探訪する展覧会が美術館で開催中！詳細はP10 & P11にて。



【取材と文：岡本梓】伊丹市立美術館所属「風刺とユーモア」をコンセプトとする美術館にふさわしく、伊丹をナナメから見る「理論よりも感性」な現場肌の学芸員。専門は近現代美術。「今年はどこに旅に出るか考え中…やっぱりヨーロッパ？」



【取材と文：加藤四季】いたみホール所属 声楽を学び、社交ダンスでは全国大会出場経験も持つ「歌って踊れる」ホールスタッフ。「キーワードはダイヤモンド、きなこ、黒糖、期間限定、パンダフィギュア、ノンカロリー…ただ今コンビニ寄り道症候群です」

## 指先に込められた 日常のかけら

数年前、工芸センターの展覧会で、こどもの手の平に収まってしまっ程小さな「豆本」が出品されていました。ほんわかしたイラストで、作品から溢れ出る優しさに心惹かれていた時、作者のたあつこ・かおりさんと出会い意気投合。話を聞くだけでなく、どんなところから作品が生まれるのかを見てみたいくなり、仕事場を訪ねました。

表紙の色や手触りなど感覚を大事にしたいと材料の収集に力を注いだあつこさん。ちょっと見ただけでは違いが解らない程いろんな種類の紙の他、糸やボタン、紙切れなどがきちんと小箱に分けて整理されています。「どんなに小さな布や紙切れでも、いつか使えるかもしれないから」と、ここでも細やかな優しさがにじみ出ています。

題材は「人と会ったり物を見たりして感じたこと」と言い、製本だけでなく中身も自分で作ることで想いを伝えます。

## クラフト作家の仕事場を訪ねて

◎豆本作家のたあつこかおりさん



A 足を伸ばして和歌山まで取材。畑や田んぼが広がります。アンティーク調の小箱に整理された布切れやボタン。



B 細かな部分まで作り出す。きっちり計ってサイズを揃え、精度を維持するのに毎回苦心しながらも、何気ない日常のひとつコマを小さな本にギュッと詰め込みます。



C パートナーの柴田さん手作りの道具を愛用。いつか使われることを待つ小さな紙切れたち。

工芸センターでは、手織のほか、陶芸や版画、彫金など様々な講座を開催。また伊丹郷町クラフトショップは4月より作家と作品がリニューアル！詳細は工芸センター（072-772-5557）まで。

製本の作業は、網状の布で補強した中身に、布を貼った表紙をつけるというもの。しおりや花布（はなぎれ）と呼ばれる飾りなど、細かな部分まで作り出す。きっちり計ってサイズを揃え、精度を維持するのに毎回苦心しながらも、何気ない日常のひとつコマを小さな本にギュッと詰め込みます。

現在、自宅兼仕事場の近くに工房小屋を建設予定。将来は木工作家でパートナーの柴田さんと共に「造形教室などを開いて、地域の人たちの“出合いの場・集いの場”にしたい」と語ります。日々の積み重ね、人や物に対する想いがどんどん膨らみ、話が尽きない1日でした。

たあつこ かおり  
和歌山県橋本市在住。個展・製本教室などで活動中。作品は伊丹郷町クラフトショップで購入可。夏休みには木工作家のパートナーとワークショップを開催予定。HPは <http://www.015.upp.so-net.ne.jp/monkey/>



【取材と文：澤野宏美】伊丹市立工芸センター所属 伊丹国際クラフト展や伊丹郷町クラフトショップを通して全国各地の工芸作家とつながる。主に手織や陶芸などの講座を担当。「準備奮闘してきた企画展「伊丹 大 酒器祭り」もいよいよ開催！」

## 終演後の一軒 A DOOR AFTER THE SHOW

伊丹には感動の余韻を楽ませてもらえるお酒と料理がちゃんとありました。



終日予約制。昼は日替わりランチ、コーヒーとシフォンケーキを付けて1,050円ほか。弁当は子ども520円、大人730円のヒレカツ入り。夜は肉鍋がついた3,150円コースほか。

4/25(土)〈1回目〉12:30 〈2回目〉15:30 □会場：いたみホール  
＜子どもちゃれんじ＞ファミリーシアター  
『しまじろうと ゆうえんちへ いこう!』



しまじろうは人気者!!  
しまじろうと一緒に歌う・踊る・遊ぶ! “ただ観るだけではない”参加する舞台”。ホールに子どもたちの歓声がこだまする。大ホールでは数少ない、未就学児童が来場できる公演の一つ「しまじろう劇場公演」はいつも子どもたちに圧倒的な人気だ。

●完売しました。当日券の販売はございません。 ●問合せ先072-778-8788

小さいお子さん連れにやさしいカフェ  
いつも親子そろって楽しんでいただいている「しまじろうのミュージカル」。そこで今回は、小さなお子さんを連れられたお母さんたちの笑顔溢れるお店をご紹介します。

行基町交差点を西に入っていくの「味処 ほそかわ」は今年、開店5年目を迎える。小学校入学前のお子さんをもつお母さんたちに絶大な人気を誇り、市外からも利用があるという。

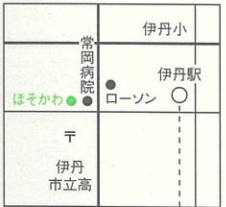
その秘密は「子供部屋」。和風家屋を改装して作った店舗の2階、モダンな雰囲気があるテール席の奥にある部屋は、座敷にソファーとちゃぶ台、押入れを改造して作ったおもちゃ棚である。親子でゆったりくつろげる空間は、3週間先まで予約が埋まっているほど。

さらに人気の特製ヒレカツをはじめ、魚・肉・鳥の3種類から選べる充実の日替わりランチもうれしいところ。幼稚園の先輩お母さんが代々利用していた影響で、来



るようになったというお客さんたちは「運動会や卒園式の後の送別会などでお弁当を届けてくれるのもうれしい」と口を揃える。

店長の細川さんは「10年後、お客さんが大きくなったお子さんと懐かしがって来てくれるのが楽しみ」と話す。自身も3児の母親で、「幼稚園の役員の集まりなどで、お子さん連れでもステキなランチを食べられるところが欲しかった」。親としての経験に基づき、徹底的にこだわったお店づくりはなかなかまねできない。



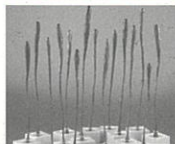
味処 ほそかわ  
行基町2-24-2  
TEL:072-781-0800 日休  
11:00~14:00(ラストオーダー13:30)  
17:00~22:00(ラストオーダー21:30)

【取材と文：宮村賢治】いたみホール所属 アートプロジェクトのオモシロさにもせられ、日々商店街やまちなかをぶらつく。「伊丹の春は天神川への菜の花がとってもきれい。地域の掲示板にポスターを貼りながら、自転車であちを散策するのがお気に入りです」

7・3(金) 締切 作品募集! 主題は「ジュエリー」

今年も2009伊丹国際クラフト展の作品を募集します。テーマはジュエリー。素材は問いません。人間に対する優しい眼差しを感じる作品をお待ちしております。エントリー締切は7/3(金)。入賞・入選作品は秋に展示します。皆様ぜひ挑戦してみてください。

【工芸センター】



2007年大賞作品「そうそう」平塚加代子

公募「2009伊丹国際クラフト展「ジュエリー」」  
エントリー締切7/3(金)。詳細要問合せ。  
要項請求は工芸センターまで。072-772-5557

6・28(日)~7・12(日) 多彩な美術の祭典

年に1度の「伊丹美術協会展」が今年も開催されます。協会員による洋画・日本画・写真・書・彫塑・工芸・デザインと、多様なジャンルの作品を展覧。具象作品から抽象作品まで多彩な美術が集合します。活気溢れる作品展をお楽しみ下さい。

【美術館】



「平成21年度 伊丹美術協会展」  
6/28(日)~7/12(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで\*最終日は17:30閉館)。入場無料。072-772-7447

開催中 7・12(日)まで まちなかアートの秘密

伊丹のまちなかに点在するパブリック・アートは歴史や市民の願いが「かたち」となり公共空間に設置されたもの。普段見慣れたものだけど、関連資料と作品から、ひめられた意味や芸術性などを改めてとらえ、探訪しましょう!

【美術館】



「所蔵品展 いたみのかたち」開催中(〜4/17、6/15〜27は、企画展示入替えのため休館)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。一般200円、大高150円、中小100円。072-772-7447

通年 地球規模の話題をお届けします

民族文化サロン「話題の地球儀」は、世界諸民族の風俗、芸術、衣食住などに関する話題を取り上げるシリーズ文化講座。2009年前期は「インド・西ベンガル地方に住むポトゥア(絵巻物師)たち」「フランス・香りの紅茶と、フレイバーティー」などを。

【伊丹アイフォニックホール】



インドのポトゥア(絵巻物師)

「民族文化サロン「話題の地球儀」第35期」 毎月曜19:00~20:30。4/27より全5回。通し申し込み5,000円/各回ごと申込み1回1,500円。詳細要問合せ。072-780-2110

※イベントにより、未就学児童の入場の制限等がある場合がございます。詳細は各ホールへお問合せ下さい。※いたみホール、アイホール、ラスタホールは火曜日休館。伊丹アイフォニックホールは水曜日休館。美術館、工芸センター、伊丹郷町館、柿衛文庫は月曜日休館。(祝日にあたる時は翌日)

アイテム

2009年4月1日発行(季刊春号・通巻60号)  
発行:(財)伊丹市文化振興財団  
編集:アイテム編集委員会  
表紙イラスト:ニシワキタダシ  
デザイン:三澤敏博(絡線堂)  
〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3  
伊丹市立文化会館「いたみホール」内  
Tel.072-778-8788 Fax.072-778-8585  
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan  
Email=itamihall@hcc1.bai.ne.jp

<配布場所>市内・近隣の文化施設でお取り扱いいただける他、こんなところで配布協力いただいています。アリオ1&2、伊丹酒蔵通り、ひがし商店街、タミータウン、宮ノ前商店街、ピバ伊丹、三軒寺前広場周辺のお店、伊丹シティホテル…ほか市内各所



ラスタホール併設有料駐車場約30台

市立宮ノ前地下有料駐車場ゾーンのご案内

伊丹アイフォニックホール B・Cゾーン  
いたみホール A・Fゾーン  
みやのまえ文化の郷 Cゾーン

チケットプレゼント

- ①「パッカスたちのから騒ぎ〜 阪画が語るパリ・ロンドンの酒事情〜」4/18(土)~6/14(日)〈美術館〉5組10名。5月1日必着
- ②「押尾コータロー アコースティックギターコンサート2009」5/22(金)19:00(いたみホール)1組2名。5月1日必着

プレゼントをご希望の方は、はがきまたはEメールで郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、上記文化振興財団住所宛「アイテムチケットプレゼント係」まで。当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

5・20(水) コンチネンタル・タンゴのトップランナー

ストリングスの響けが限りなく美しい甘い調べ…。ヨーロッパで花開いた「コンチネンタル・タンゴ」で半世紀以上、頂点に君臨し続けるアルフレッド・ハウゼ・タンゴオーケストラ。世界中の音楽ファンを魅了する新鮮な感動をご期待下さい。

【いたみホール】



宝くじ文化公演「アルフレッド・ハウゼ・タンゴオーケストラ」  
5/20(水)18:30。3,000円(当日500円増)。\*残席わずか  
072-778-8788 \*宝くじの助成により、特別料金となっています。

5・23(土) ポーランド・澄み渡る魂の歌声!

ポーランド西部に位置する古都ポズナニ。ポズナニ・ボーズクワイアはこの地で、第二次世界大戦後の1945年に設立された同国唯一の合唱学校。激動の時代を時代をくぐり抜け伝統を守り続けてきた彼らの歌声は、切ないまでに強く美しい。

【伊丹アイフォニックホール】



出演:ポズナニ・ボーズクワイア

アイフォニック地球音楽シリーズ141「古都の響き ポーランドの男声合唱」  
5/23(土)18:00。一般3,500円、学生2,500円(当日500円増)。  
072-780-2110。

6・19(金)~21(日) 静かに、そしてスリリングな会話劇

ワンシチュエーションの会話劇を得意とし、岐阜を拠点とする劇団ジャブジャブサーキット。「地方都市伝説シリーズ」に属する斬新な会話劇。抽象と具象の境界線に建つ「ホテル河童橋」を舞台に、物語は静かな中にもスリリングに展開します。

【アイホール】



前作「死立探偵」より

劇団ジャブジャブサーキット「河童橋の魔女」  
6/19(金)19:00、6/20(土)14:00/19:00、6/21(日)14:00。一般2,800円、学生2,000円(当日各200円増)。072-782-2000

6・27(土) 必見! ジャズとお囃子のコラボ

宗清洋カルテット&内海英華社中がくりひろげる、ジャズとお囃子という全く異なる音楽が出会いぶつかる異例のコラボレーション! 落語ありお囃子あり、ジャズありの1度に何倍も楽しめる究極のエンターテイメントをご堪能下さい。

【ラスタホール】



「ラスタ寄席 落語、お囃子&ジャズ 宗清洋カルテット&内海英華社中」  
6/27(土)14:00。一般2500円、高校生以下・60歳以上2000円(当日、一般3000円、高校生以下・60歳以上2400円)。072-781-8877

4月中旬 何かを始めたくなる春、各種講座開講

新しい気持ちで出発できる春に何かはじめてみませんか? 朗読、水彩色鉛筆画、パソコン、英会話、古典文学、フラダンス、アクセサリー、料理など多彩な講座が一堂開講します。あなたの新たな一面が発見できるかも…

【ラスタホール】



「ラスタホール春の講座」  
4月中旬〜。詳細要問合せ。  
072-781-8877

5・22(金) 超絶技巧は必見。押尾コータロー

世代を超え多くの人々から支持を得ている押尾コータロー。独特のギターアレンジや、パーカッションで迫力ある演奏と、繊細であたたかい音色が共存するステージは必見です。待望の伊丹再公演! お見逃しなく!

【いたみホール】



「押尾コータロー アコースティックギターコンサート2009」  
5/22(金)19:00。4,800円(当日500円増)。  
072-778-8788

5・23(土)~24(日) 1年間の集大成の卒業公演

北村想塾長、芳崎、林両師範のもと、筆を磨いてきた塾生による「劇作家のための」卒業公演。短編ながらも意欲的な作品をドラマ・リーディングで関西の役者の協力を仰ぎ上演。新しい才能たちによる、瑞々しい感性の舞台に注目ください。

【アイホール】



伊丹想流私塾第13期公演ドラマ・リーディング「みよおっさん空をゆく」  
5/23(土)19:00・5/24(日)14:00。一般1,000円(当日200円増)。  
072-782-2000

6・20(土) お笑いパワー軍団がやって来る

今、人気のお笑いパワー軍団が、いたみホールにやって来る! ナイツ、狩野英孝、アントキの猪木などTVでおなじみの豪華出演メンバーが、自慢のネタを次々と披露します。爆笑間違いなしのステージは必見! 乞うご期待!

【いたみホール】



「爆笑!! お笑いバトル2009 in いたみ」  
6/20(土)11:30(予定)/15:00(予定)。3,800円(当日500円増)。  
チケット発売日5/6(水・祝)、詳細要問合せ。072-778-8788